	Miı	nami Ky	ushu	University	Syllabus			
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	4	環境園]芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	ar, Part 3]		実務経験 教員担当	0	アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当		4年次
教員氏名	牧田 直子		H	11181/1 7	学位授与の方針との関連		DP2(1) DP2 3(3) DP3(4)	(2) DP3(2) D DP3(5)
授業概要	専攻演習 I・Ⅱ・ 卒業論文の完成 また、大学での動 的確なプレゼン・	え度を高めるため 学習を通して学ん	の力を養う んだ専門性を	はしめる。 。 振り返り、それらを活	舌かして事柄をまとる	かる。		
関連する科目	<i>t</i> -# × r+ 88 1-	-11		=#=+=_+__+_\\	1 - hn=\(\frac{1}{2}\) - \(\frac{1}{2}\)	7 11 m o		
授業の進め方と方法	各講義時間内に 報告し、その内容	にはチューター役 容や研究方法に	が任命される	. 講読論文の提示とと を行う。庭園調査、分	:もに解説を行つ。 ₹ ↑析などを行う。(個	各研究の 別指導あ	内容、進捗 ³ り)	犬況を毎 回
授業計画	1 2 3 4 5 6 高論論論 2 4 5 6 6 7 8 8 高論 2 9 1 1 3 2 9 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	:研究構成の組: 結果とデータグンョン手法:パワ: 研究手法の妥文章の書き方1文章の手法: ワード: 目的の方法ニック・ションテクニックションテクニック	み立て方 かが、考察・・・ ポでの、考察・現 当性、文の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	方法と話し方 等再検討 い文章の書き方 使い方				
授業の到達目標	卒業論文を作成 とめる力、明確に 【専門分野のスコ	するための基本 に話す力を養い、 キル】【課題発見	を学んで論 文章力とプ・分析・解決	文構成力を養い、調 レゼンテーション能力 カ】【プレゼンテーシ:	査結果から事実を排 を高める。 ョンカ】	巴握す力	、考察する力	」、要点をま
授業時間外の学修	自身で調査を行	いまとめる(目ま	を時間は3時	間以内)。				
課題に対する フィードバック	課題の返却			評価方法	各回の発表 , 理解度, 発 展望及び質 の的確さを診	表時間, 問への応	ポイントの报 答	
テキスト	プリント資料を配	であする						
参考書	作品選集 技術	報告集 ランドス	スケープ研究	(日本造園学会)な	Ĕ			
備考								

	Miı	nami Ky	/ushu	University	Syllabus		
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環境	園芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	山口 雅篤				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP P3(3) DP3(4) DP3(5)
授業概要				対して、個別に論文 に必要とされる概念			いて欧文も含
関連する科目				植物バイオ・育種実			
授業の進め方と方法	入れて行きます	。授業計画の各 パワーポイントを	·回毎に授業の ·用いて解説し	げていただき、資料)項目の意義や重要 とます。英語の論文に け。	「性を確認します。資	賢料として教材に用し	ハる写真や図
授業計画	第1回 第3 第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	上次代謝成分の イド成分の生 イド成分の生 イド成分の生 イド成分の生の生 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	論文解説2 解説1 解説2 の論文解説 の路路 成の論文解説 成1				
授業の到達目標		こ活用することか		≜文の内容を把握し せられます。そのため			
授業時間外の学修	【復習】 ノート、資料、参 ・ 授業の終わり	考書等を参考に に復習として時	して復習を約 々小課題を課	自で参考書等を活用 11時間行うようにして し、次の講義の前に して担当教員に質問	「下さい。 解答をします。		Λ,
課題に対する フィードバック	与えた課題につ 課題の解答を行 て取り入れている	って、講義の中		評価方法	1課題のレポます。	ートを課して、100点	i満点で評価し
テキスト	なし(必要に応じ	 て適宜、参考資	ーー 【料としてプリ:	ントを配布します)			
参考書				2004) アントシアニ :化学 水谷正治ら網		建帛社(2002)[6	芸生理学
備考							

	Mir	nami Kyu	ıshu	University	Syllabus	8		
シラバス年度	2021	開講キャンパ	パス	都城キャンパス	開設	学科	環境園	園芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semina	r, Part 3]		実務経験 教員担当	0	アクティブラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	,,_	4学年	4年次
教員氏名	陳蘭庄				学位授与のプとの関連	P	3(3) DP3(4)	
授業概要	合的に理解・習行う、目標としていられた研究成果 て、目標をはっき 育することを行い	得することを目的。 ます。この講義の を発表してきた学 りさせ、実験計画	としていま)内容は、 :会要旨や 頭の立案か 解を応用し	会文を中心に輪読し、す。特に植物の種で見た。 す。特に植物の種で見た。 にれまで本を交えながまで本を交えながら、計画の実施、結り に、計画の実施、結り に活用する能力】、【汎	こは捉われず、 『際に行ってきて ら、グループ討 果のまとめ、論っ	幅広く吸収・ こいる研究内 議や、実際の 文の書き方ま	活用できるよ 容なので、こ 発表した学 で、リアリティ	こうになるよ これまでに得 術論文を使っ ィをもって教
関連する科目	え、卒業研究テ-	ーマを実施するた	め、関連で	」を中心に、バイオ育活を知識やスキルを専	攻演習で学び	ます。		
授業の進め方と方法	せ、聞いた人は マにもフィードバ	発表内容について ックでき、参考にフ	て、質問しなったりし	を例として、計画に沿たり、アドバイスをした てスムーズに自分ので こ就職にも繋がります	りします。そうし 研究テーマを進	うことをして	、初めて自分	うの研究テー
授業計画	す。 第1回~ 第4回~第6回 第7回~第9回 第10回~第12回	第3回 卒業論文 卒業論文の実験。卒業論文の実験。卒業論文の実験。ご 卒業論文の実験。	ての諸論の 材料及び 結果の書 験結果に	自の卒業研究テーマ)書き方について; 方法の書き方について; ち法の書き方について; 対する考察の書き方に 対する考察の書きが 対辞、要旨などの書きが	て; こついて;	選び、活用し	で自分の卒	論に用いま
授業の到達目標	法、データのまと	め、図表の作成、	、結果に対	て、履修生自身が自分 する考察・評価など、 ートとして作成できる	研究論文の書	き方に関した		
授業時間外の学修	て、予習すること トを再点検してオ ネットを使ったり	。また、授業の内 つからなかったこと して解けるようにで	容につい を自ら解 する。どう	書または参考書、本で、分かったことやわたことやわた。それでもわからない時は、前事後合わせて1時「	からなかったこらない場合、図 、先生に直接間	とをはっきりる 書館から関う いてみる。オ	せ、配られた	た資料やノー ヾたりインター
課題に対する フィードバック	~2人に発表され ついて、質問した	テーマの中間発き さ、聞いた人は発 らり、アドバイスを で価後、返却及び	表内容に したりしま	評価方法	方(20%)	文の新規性(2 、完成度(20 平価します。		20%)、まとめ 0%)などを総
テキスト	特にありません。							
参考書	随時、指示または	ま指定します。						
備考								

	Mir	nami Ky	/ushu	University	Syllabus		
シラバス年度	2021	開講キャン	ノパス	都城キャンパス	開設学科	環境	竟園芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティスラーニング	
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
授業概要	教養科目で習得 英文誌に掲載さ 養います。また、 で必要なプレゼン 実験手法、解析	した知識に加えれた研究論文を 論文に書かれた シテーション能力 技術などの理解	と、専攻演習 I を読み進め、名 た内容をまとめ 力を養います。 なな深めます【	田胞工学、植物バイオ およびⅡで習得した 室業論文の引用文献 かて専攻生の前で自っ 卒論テーマに即した 知識・理解の獲得】。 実務者経験を活かし	力を基に、国内外に加えるとともに、らの言葉で簡潔に内容の論文を通しなお、本演習につ	の育種学関連学会 自らの卒業論文を 発表する力を高め て実験で扱う植物 いては、生産現場(4) DP3(5) 手の専門科目や 会和文紙および 作成する力を 、ビジネス社会 種に関連する
関連する科目	演習Ⅰ・Ⅱを受訓	構していることが	「望ましい。]芸植物細胞工学、植			
授業の進め方と方法	された研究論文 育種技術に関連	を読み進めプレ した話題につい	νゼンテーショ: ヽてのディベー	で習得した力を基にほ いを行います。その内 トを積極的に行い、記 ジーに関して自分の記]容に基づき、議論 倫理的思考の構築	iを深化させるとと t 、コミュニケーション	に、育種法や ン能力の強化を
授業計画	第2回 研研究 計 第3回回	十画再検討 1: 育 計画再検討 2: 育 計解 1: 育 情解 1: 育 情解 2: 请 情解 3: 遺育種子 情解 5: が計 所 が 大 中間 機 対 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	i種材料を検え i種材料を検え iを植物が inに関すが inに関すが inに関すが inに inを inを inを inを inを inを inを inを inを inを	正する。 ける研究について学習 重に関する研究につい について学習する。 について学習する。 見について学習する。 ででででででいて学 でいて議論する。 なが手法について学習 はいでは ないで、 はいででできます。	いて学習する。 全習する。 望する。		
授業の到達目標	園芸植物の育 確に発表する力	種に関する課題 を養い、研究遂	夏を中心に科与 行のための書	学論文について、論文 基礎力を習得します。	ての様式、論文を読	もみ取る力、要点を	まとめる力、明
授業時間外の学修				載された研究論文を さい(毎回0.5時間程		ヾ(毎回1−2時間程	度)
課題に対する フィードバック	受講者に対して講者自身の理解容について説明に基づき、授業に	を行います。ま	うとともに、内 た、その結果	評価方法	否、理解度、	長について、論文テ 発表時間、ポイン 質問への応答の的	トの把握、今後
テキスト		reeding Science he Horticulture					
参考書	植物育種学辞	典 日本育種学	全会 培風館(2	005)			
備考							

	Miı	nami Ky	ushu	University	Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	4	環境園]芸学科				
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	0				
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学	•	4年次				
教員氏名	山口 健一				学位授与の方針 との関連	P3(3	3) DP3(4) I					
授業概要	受講者の各課会方式でプレゼ	題・テーマについ ンテーションでき	いて, 研究の行う ○・る力を養うこ	背景, 実験材料及び とを目的とする.【汎	方法, 発表時まで <i>0</i> 用的技能の育成】	D実験結果	及び考察を	をまとめ, 学				
関連する科目	卒業論文、専攻											
授業の進め方と方法		に提示した課題について自ら学び、ゼミ形式でプレゼンテーションを行う。本授業では、受講生と指導教員がディションしながら問題解決型の体験学習として行う。										
授業計画	課題では、第03回 第04回 第04回 第05回 第06回 第07回 第08回 第08回 第08回 第11回回 第11回回回 第11回回回回回回回回	の進め方とプレー 決め、発表方法 に対するとのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ゼンテーション まについて学。 のプレゼンテ け、質疑応答 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ぶ。 一ション・質疑応答(方法を学ぶ。 る。 一ション・質疑応答(方法を学ぶ。								
授業の到達目標	卒業論文等の学	が研究につい	て,結果の纏	め方及び学会発表す	「る力を身につける	【専門分野	のスキル	の獲得】				
授業時間外の学修		いた研究課題に	こついて受講	で、各自で予習を行う 生各自で毎回復習す て学びを深める								
課題に対する フィードバック	プレゼンテーショ 所や改善が必要 する。			評価方法	各プレゼンタ カ(50点)を, 及び受講態!	その他につ	ついては質	問の的確さ				
テキスト	受講生各自の研	 究テーマ(卒業	 論文課題)を	第1回授業で発表, 配	 配付する.							
参考書	課題毎に関係す	る書籍・論文等	を適宜紹介す	- ੈਰ.								
備考												

	Mir	nami Ky	/ushu	University	Syllabus		
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環境園	量芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ[La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	前田 隆昭				学位授与の方針との関連	DP1(1) DP2(1) DP2 P3(3) DP3(4)	DP3(5)
授業概要	専攻生各目が、 成に当たり、その の育成】。	卒来禰又ナーマ ○文献と考察との	イに対する国P D 関連性につ	Y外の又献を探して、 いてもわかりやすくst	その又献について、 後表できるようになる	詳しく紹介します。同 5ことを目的とします【	時に 学 調作 【汎用的技能
関連する科目	4年次前期の専						
授業の進め方と方法	毎回、専攻生が 後、ディスカッシ: テーションを取り	ョンしながら学ひ	を深めている	きます。本授業は、グ	簡潔に発表していき ループディスカッシ	ます【汎用的技能のī ョン、グループワーク	育成】。その 、プレゼン
	1. 授 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 論論論論論論論論論論論論論論論 2. 文文文 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 8. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 6	一、いたないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	方法、概要を		•		
授業の到達目標	国内外の果樹 門分野のスキル	栽培に関する動 の獲得】【汎用的)向を理解する 的技能の育成	るとともに、要点をまる こ	とめて発表できるよ	うになることを目標と	します。【専
授業時間外の学修	【予習】次回の論	言文を読み、知識	銭を深めておい	いて下さい(1時間程)	篗)。		
課題に対する フィードバック	毎回、発表につり		います。	評価方法	以下の項目I 1)受講態度— 2)発表内容—		 r.
テキスト	特にありません。	 。(毎回資料を配	ーーー 己布します。)				
参考書	特にありません。						
備考							

	Miı	nami Ky	ushu	University	Syllabus			
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環	境園芸学和	科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	ar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティラーニン)
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年2	
教員氏名	平岡 直樹		(a. N		学位授与の方針との関連	DP1(1) DP2(1) P3(3) DP3	3(4) DP3(5))
授業概要	能・計画 性・情報 景観関連の学	報収集能力・計算 協会誌・テキスト	算能力を高め ・による演習や	上での応用科目とし ⁻ ることです。 ○事例紹介・現地 見 ⁵ 。びにプレゼンテーシ	学を中心的に行いる	ます。		
関連する科目				寅習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、				
授業の進め方と方法	参考にしながら	学びます。同時に	こ、論文の書き	。続いて研究とはどら ち方や注意点などの 見交換をするなどア	ついても学んでいき	ます。 ほとん	どの授業に	究を :て
	2 景観論の歴史	史的展開(制 開) 大(昨今の展開(都 開) 大(昨今の 開) 大(で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	十画の進展とで こついての社会 等を中心に研究 分野) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	介、言葉の定義の確 のかかわりを軸に説明 会的位置づけの考察 究の展開を考察)	明)			
授業の到達目標	ます。【専門分野 2)地域景観の調 実現に向けた課 3)演習を通じて、	予のスキル】 調査や計画にかか 題発見と問題解 現状の認識力	かわる専門職 『決をはかる』 や表現力、グ	だんなものか、景観 業人として必要な基 がかりを身につけま ループ作業による協 ションカ】【実践カ】	礎的知識や技術を きす。【課題発見・分	学び、持続可能 ・析・解決力】	な循環型社	と会の
授業時間外の学修	い。授業後に理論	解が曖昧な時は るために、身近	:再度精読して な地域社会や	が地域論や景観論、造 ください。また、自ら 自然地に赴き、その	の地域や景観につ	いての知見を深	め、景観の)社会
課題に対する フィードバック	課題は、提出前次回以降に返却ントします。			評価方法	毎回の演習に	こ対する進捗度、	理解度を記	評価す
テキスト	授業中において	配布する資料及	び紹介又は打	指示する書籍				
参考書	究会『景観用語	事典 増補改訂	版』彰国社、2	ます。主なものの一部 007 ②福井幸夫、空 ③後藤春彦:景観づぐ	京子『社会基盤整位	備のための景観		
備考	演習の実施形態	集についてはガイ	′ダンス時に紹	介します。				
授業時間外の学修 課題に対する フィードパック テキスト 参考書	ま2)実33し 第い的め 第2)実33し 第い的め 第2)実33し 第10点で 第5点で 第5点で 第5点で 第5点で 第5点で 第5点で 第5点で 第5	のスキル』のスキルのスキルのスキーのスキーのスキーのスキーのスキーの できます で見います きゅう で解えている で解えている で解えている で解えている で解えている でない でない でない では かっと でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます	はいかった。 はいカルテートをは、カルテートをは、カルテートをは、カルテートをは、カルテートをは、カルテートをは、カルテートをは、地域では、カルートをは	業人として必要な基準を を対かりを身につける協力といって、 がりを身につける協力とでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	礎的知識や技術を を可能を を可能を ではないでプレイ を関学に関する ではならがにプレイ を関学に関する の地域なちや を対して のの のの のでは、	学び、持続可能: 析・解決力】 ジンテンション能 学を授業前に表示に 位置づけなどに 対する進捗度, に請深に で対する進捗度,	な が な が が が い で い で い で い で い で の の の の の に に に に に に に に に に に に に	

	Mii	nami Ky	ushu	University	Syllabus			
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	4	環境	園芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	ar, Part 3]		実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当		4年次
教員氏名	姜 暻求				学位授与の方針との関連	P3	(3) DP3(4)	2(2) DP3(2) D DP3(5)
授業概要	分析・提示する』	必要がある。客観	見性を与える	る。論理の正しい展開 る最も一般的な方法は、 分析と多変量解析法を	、統計学的分析に	データを り よる結果の	長めて客観の解釈であ	的な方法でる。ゼミでは
関連する科目	生物統計学							
授業の進め方と方法	統計学の基礎を	:学び、卒論と関:	わるデータ	を分析してみる。				
授業計画	1. エクセルに変3. 4. エデーター 2. デ基本 4. 基本種数 5. 6. 7. 8. 日本 5. 8. 日本 5. 8. 日本 5. 8. 日本 6. 2. 10. 11. 12. 正数 数 プンパライ 13. 数 数 プンパライ 15. プライ 15.	換 量の解検 を を を を を を を を を を を を を を を を と と で と で	出力					
授業の到達目標	論文作成に必要	厚な統計分析手法	もまま はままる はっぱん はっぱい しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅう	ける。				
授業時間外の学修	習った分析手法	で多様なデータ	を1時間ほ	ど処理し、解釈してみる				
課題に対する フィードバック	提出した課題は	コメントし、返却・	する。	評価方法	課題提出(10	00%)で評価	 īする。	
テキスト	柳井久江『エクセ	マル統計-実用:	多変量解析	編』オーエムエス出版				
参考書								
備考								

	Mir	nami Ky	/ushu	University	Syllabus			
シラバス年度	2021	開講キャン		都城キャンパス	開設学科	1	環境園	芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	nar, Part 3]		実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学		4年次
教員氏名	廣瀬 大介				学位授与の方針 との関連	P3((3) DP3(4)	(2) DP3(2) D DP3(5)
授業概要	本講義は、専攻表の方法を学ぶ	演習 II と同様なことを目的に行	方法で講義をいます【汎用	を進め、単なる人前で 艇能力の育成】【志向	₹話すだけでなく、お 対性の育成】。	oかりやすぐ	く、納得して	でもらえる発
関連する科目	専攻演習Ⅱ							
授業の進め方と方法	毎回、アクテイブ	ラーニング型技	受業を実施しま	इ इ .				
授業計画	第1回目〜第15 (1回につき2〜:							
授業の到達目標	単なる人前で話	す方法を学ぶた	ごけでなく、理	解あるいは納得して	もらえる話し方を体 ^っ	得する。		
授業時間外の学修	予習は、人に理 復習は、プレゼン 予習1時間、復習	ノテーション時に	プレゼンテーシ - 指摘された ब	/ョンは何かについて [項について検討し、	各自で勉強してくた 次回に備えてくださ	さい。 い。		
課題に対する フィードバック	各プレゼンに対し		·	評価方法	プレゼンテー する対応力(]容(50点)	、質疑に対
テキスト	毎回、発表者が	準備して下さい	0					
参考書	論理的にプレゼ	ンする技術、「タ	かりやすい。	党明」の技術 最強 <i>の</i>)プレゼンテーション	15のルー	ル	
備考								

	Mir	nami Kyu	ıshu	University	Syllabus			
シラバス年度	2021	開講キャンパ	パス	都城キャンパス	開設学科	ł	環境園	芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Seminar	r, Part 3]		実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当	学年	4年次
教員氏名	菅野 善明				学位授与の方針 との関連		DP2(1) DP2 3(3) DP3(4)	(2) DP3(2) D DP3(5)
授業概要	植物には多種原因、病原体のある園芸作物に	多様な微生物が原種類、植物におけついてまとめ発表	Š染し病気 る症状、⅓ します【知	発生生態および防除法 を引き起こしています。 病気の発生生態および 1識・技能の育成】【コミ	。ある一つの植物 防除法を広く理解 ュニケーション能力	するため 1の育成)、これらを学 】。	生が関心の
関連する科目	履修していること	が望ましい。		演習、植物バイオ・育				
授業の進め方と方法	自分の卒業論 員からの質問受 生は持ち回りで	文テーマに関連の け回答します。ま 論文を紹介します	た、プレゼ 。論文1報	を読破し、プレゼン形ま シの仕方についても相 を時間内でわかりやす シ能力の育成】【課題打	互に意見交換し、 く説明できるよう	今後の多	発表に生かし 、図表を用い	ます。受講 ながら発表
授業計画	き 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	て意いない。 は大変、糸変、状変、を を 状変、糸変、状変、ないで、 を で で で で で で で で で で が の で で が の で で が の に の で の に に に に に に に に に に に に に	い菌の催分性スルスいてつつ微議分の分に離らのスのてのい微生すす。 離 定 同 定 分の分の論 て生物する 間 に 定 に離 分離論 文 詞物の	文発表を最低3回行に を共に、発表の仕方に についての論文をませれる。 についての論文をませれる。 についての論文をませれる。 についての論文をませれる。 についての論文をませれる。 でについての論文をませれる。 でについての。 でについての。 についての。 についての。 についての。 についての。 についての。 についての。 についての。 についての。 についての。 についての。 なませませれる。 ですませんがしていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	でいても検討しままとめプレゼンしていまとめプレゼンしていまとめプレゼンしていまた。 ファイン アン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン	す。 もらいま いま て し てもらいま ま ま もら もらいま ま せ もら い し せ ど し し もら い し し し し し し し し し し し し し し し し し し	す。 ます。 ます。 ます。 ます。 でもらいます。	
授業の到達目標	・論文の構成に [*] 調べたことをまと ・わかりやすいフ	ついて理解する。 :め発表する力を !レゼンテーション	わからない 習得する。 能力を習行		く力、またそれを[
授業時間外の学修	認・修正します。 【復習】発表後 表に生かす。	は答えられなかっ	た質問に	容を事前に教員と図表 ついて調べ次回回答す 	る。また、自分の	プレゼン	について評価	新し次回の発
課題に対する フィードバック	の質疑により卒	とめることおよびブ 論テーマをより深く いての意見交換に、 する。	(理解する	•	論文内容の レゼン内容を			受講態度・プ (100点)
テキスト	必要に応じて作	作製した資料を配る	ー 布します。			_		
参考書	日本植物病理	学会報(日本植物	病理学会	:)				
備考								

	Miı	nami Ky	/ushu	University	Syllabus			
シラバス年度	2021	開講キャン	ノパス	都城キャンパス	開設学科	i i	環境園	芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクラ		0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年		4年次
教員氏名 授業概要	の知識に加えたまとめる. これら書かれた内容をこの科目では	力を基礎に, 国の論文を引用でまとめて人前で 青報社会で必要	内外の園芸学 文献に加え、記 簡潔に発表で なプレゼンテ	菜園芸各論,施設園 学関連学会雑誌に掲 計でる力を売い力と卒業を でる力を活用して発 ーションを活用して発 資料を収集し、実験引	載された研究論文 論文を作成する力を 目的とする。 表能力を高め、さ	を読み進め, 卒 を養う. また, これ らに卒論テーマ	P3(4) I の専門 業論: れらの に即し	DP3(5) 科目や教養 文の形式に 研究論文に
関連する科目	園芸生産環境専	『門実習, 蔬菜』	園芸専門実習	,蔬菜園芸総論,蔬菜	英園芸各論, 施設[園芸学		
授業の進め方と方法	授業は、1回目にす。毎回メモ帳を			れを説明して、各回、 成をします。	ごとに配付資料を	利用して、不足(ま板書	で進めま
授業計画	第2回 果菜類(第3回 果菜類(第4回 果菜類(第5回 果菜類(第5回 果菜類(第5回 葉菜菜類(第7回 菜菜菜類(第8回 茶菜業業業)。第10回 卒卒業業業業業計論第12回 卒業	か 英文に関すする の 英文に関すする の 英文に関関すする の 英文にに関関にに 対 の が 女ののが は は に に に に に に に に に に に に に	論文紹介ゼミニ論論文紹介がゼミニ論論文紹介介ゼミニ論論文紹介介ゼミニンの作が、での作がでいての作がでいての作ができましての作成のではでしていての作成でしていての作成セ	(栽培部門) (応用部門) (基礎部門) (栽培部門) (応用部門) での作成セミ		法		
授業の到達目標	卒業論文が作成	tでき、さらにプI	レゼンテーシ ョ	ン形式でまとめて, 4	≚論発表できるよう	iにする.		
授業時間外の学修	事前に卒業論文 予習をする. 終 ⁻	この課題をもとに 了後に訂正され	-内容を確認し た箇所を修正	, セミ形式の発表が し, 復習をかねて1時	できるように発表資間程度学修する.	登料をとりまとめ	て毎回	回2時間程度
課題に対する フィードバック	レポートと資料です。	 作成は、提出ごと		評価方法	発表資料の340点)で決め	まとめ(60点)と かる.	口頭	― <u>――</u> 発表の仕方(
テキスト	適時,使用する	 資料と材料を配	—— 布する.					
参考書	園芸学会雑誌を	中心に施設園	芸に関する論	文を選ぶ.				
備考								
	*-							

	Mir	nami Ky	rushu	University	Syllabus		
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環境園	園芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	0
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	日髙 英二	·	<i>t</i> - = 1 1- <i>t</i> -± -		学位授与の方針との関連	DP1(1) DP2(1) DP2 P3(3) DP3(4)	DP3(5)
授業概要	る調査研究を行	う。また,定期的	に報告会を	-行つ。調査研究の極 実施し、研究相互の意 操作法を習得する。	続と中間報告で明 意見交換を行う。デ	らかになった新たな記一夕整理や報告会を	^米 題を補足す 通じて必要
関連する科目	N. de Me TV				£ / \ \		
授業の進め方と方法	決定した卒業研 究の進め方の修		つて調査研究	名を行う。要所でデー	タ分析や中間検討:	を行い,その結果をも	らとに調査研
	1 調介	調査対象の細部調査対象の細部調調査対象の細部部調査対象の細部部 調査対象の細部部が析1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3調査2 3調査3 3調査4 析				
授業の到達目標	調査研究を通じ カやプレゼンテ-	て情報収集能力 ーション能力の「]・データ整理 句上させる。	能力を高めることをし	目的とする。また,う	データ整理や発表会(こよって表現
授業時間外の学修	卒業研究のテー 調査データの速	マに関する文献 やかな整理、図	、等を収集し、 表作成を行う	その内容を理解する)。 : 週(5。 60分		
課題に対する フィードバック	提出課題を評価	後, 返却し解説	を行う。	評価方法	調査研究進掘	步報告100点	
テキスト	プリント等を配布	i					
参考書	研究関連文献						
備考							

	Mir	nami Ky	rushu	University	Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環境	園芸学科					
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semir	ar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング						
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次					
教員氏名	関西 剛康				との関連	DP1(1) DP2(1) DF P3(3) DP3(4	DP3(5)					
授業概要	さらに、造園計 グ、フィールドワ また、教員は打 務所において国	びます。そして、造園計画が必要とされている社会的課題について学び、その解決策について考えます。 さらに、造園計画を通じて各自の専門職業人としての専門性を磨いていくために、ワークショップ、グループワーキン ブ、フィールドワークも行います。 また、教員は技術士(総合技術監理部門、建設部門:都市及び地方計画)やRLA等の専門資格を有し、造園設計事 務所において国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画した20年間の経験があります。そのキャリア を含めて、教員が実際に計画設計した造園作品の具体的な事例を解説しながらも、授業を進めます。										
関連する科目		履修前に「専攻演習Ⅰ」「専攻演習Ⅱ」、同時に「卒業論文」を履修すること。										
授業の進め方と方法	業前半は講義を	基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施して行きます。毎回の授業構成は以下のとおりです。 授業的半は講義をします【学術・知識のインブット】。 授業後半は、グルーブ学習、ディスカッションや課題発表(問題解失学習、プレゼンテーション)等を行います【学術・知識の醸成とアウトプット】。										
授業計画	専の変学に 事の2回回の 第903回回の 第904回回の 第905回の 第006回に 第007回の 第009回回の 第009回の 第110回の 成回のの 成のの 第12回の 成ののの 第12回の 成ののの 第13回のの 成のののの で第12回の が第13回の で第13回の で第13回の で第14回の 後第14回の 814回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の 814回回の	第01回: 専攻演習皿の概要説明と心得について説明する。 【造園計画の学術研究】 第02回: 造園計画の学術研究-1(学術研究について) 第03回: 造園計画の学術研究-2(学術研究の計画) 第04回: 造園計画の学術研究-3(学術研究の背度) 第05回: 造園計画の学術研究-4(学術研究の実践) 第06回: 造園計画の学術研究-5(学術研究の集践) 第06回: 造園計画の学術研究の多とで表して、 造園計画の研究成果とその応用】 第07回: 造園計画の研究成果とその応用-1(研究と応用について) 第08回: 造園計画の研究成果とその応用-2(研究成果の精査) 第09回: 造園計画の研究成果とその応用-2(研究成果の利用) 第10回: 造園計画の研究成果とその応用-4(研究成果の利用) 第11回: 造園計画の研究成果とその応用-4(研究成果の利用) 第11回: 造園計画の研究成果とその応用-5(研究成果の利用) 第11回: 造園計画の研究成果とその応用-5(研究成果の利用) 第11回: 造園計画の研究成果とその応用-5(研究成果の利用) 第11回: 造園計画の研究成果とその応用-5(研究成果の分析) 第11回: 近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近日、近										
授業の到達目標	2. また口頭発表	1. 造園学における造園計画の知識と技術の実践的内容を修得することを目的とする。 2. また口頭発表を通じてプレゼンテーション能力や、集団討論を通じてディスカッション能力を向上させ、総合的なコミュニケーション能力の向上を目的とする。										
授業時間外の学修	2. 授業後にさら 3. 演習授業であ	1. 授業で配布するテキストならびに参考図書等を授業前に精読しておくこと。 2. 授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。 3. 演習授業であるため、事前に参考となる資料を準備しておくこと。 4. 予習復習は1時間程度行うこと。										
課題に対する フィードバック	レポートは評価 却ならびに解説	「後、返却期間を をします。	そもうけて返	評価方法	発表・研究し	した内容に関するレ	/ポート(100点					
テキスト				コプリント資料を配布し								
参考書	1. 『ランドスケー ン』マルモ出版		園学会誌 2.	『ランドスケープ研究化	作品集』日本造園学	学会誌 3. 『ランドス	ケープデザイ					
備考												

	Mir	nami Ky	ushu	University	Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環境	園芸学科					
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ[La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング						
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次					
教員氏名	長江 嗣朗				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DF P3(3) DP3(4	DP3(5)					
授業概要	分の研究に反映	卒業論文で行う研究と関連した論文を読み解き、資料を作成して発表する。これを元にゼミ参加者で議論を行い、自分の研究に反映させる。論文作成に当たり、問題点や課題点について考察することにより、今後の自分自身の課題等を解決できることを目指す。										
関連する科目	4年前期『専攻演習』、4年後期『専攻演習 II 』、4年通年『卒業論文』											
授業の進め方と方法	授業では資料を 場合もある。	受業では資料を配布し、グループディスカッションを行う。また配布する資料については、学生が持ち回りで作成する 場合もある。										
授業計画	第第第第国第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	本授業における概要を説明する。 第2回: 鉢物生産における文献紹介① 第3回: 鉢物生産における文献紹介② 第2~3回は、国内外における鉢物生産における論文を紹介し議論する。 第4回. 苗物生産における文献紹介 国内外における苗もの生産における論文を紹介し議論する。 第5回: 切り花生産における文献紹介① 第6回: 切り花生産における文献紹介② 第6回: 切り花生産における切り花生産における論文を紹介し議論する。 第7回: 卒業論文の中間発表① 第8回: 卒業論文の中間発表② 第9回: 卒業論文の中間発表② 第9回: 卒業論文の中間発表③ 第7~9回は、それぞれが取り組んでいる卒業論文についてお互いに状況を報告し合い、今後の実験の進め方を議論する。 第10回: 希少植物に関する文献紹介① 第11回: 希少植物に関する文献紹介② 第11回: 希少植物に関する文献紹介② 第12回: 切り花の鮮度保持に関する文献紹介① 第13回: 切り花の鮮度保持に関する文献紹介② 第14回: 切り花の鮮度保持に関する文献紹介② 第14回: 切り花の鮮度保持に関する文献紹介②										
授業の到達目標	論文を十分にま	論文を十分に理解し、それを元に自分の研究を計画できるような能力を身につける。										
授業時間外の学修	発表要旨をまとめ、さらにわからない箇所を調べておく。予習に5時間。											
課題に対する フィードバック	学生自身で解は、次回授業で	決できなかった 詳説する。	 課題に対して	評価方法)まとめ方、発表時(:総合的に評価する						
テキスト	特になし											
参考書	特になし											
備考												

	Miı	nami Ky	ushu	University	Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環境	園芸学科					
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	ar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	0					
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次					
教員氏名	新谷 喜紀				との関連	DP1(1) DP2(1) DP2 P3(3) DP3(4)	DP3(5)					
授業概要	ことが期待できる 紹介する文献!	にとっては知識を伸ばすだけではなく、他人のプレゼンテーションから、プレゼンテーションの技法について啓発されることが期待できます。 るので、教員と相談して決めます。卒業論文のテーマと関連性の深い文献を選ぶようにします。										
関連する科目	昆虫学、自然環境実習、動物分類学、動物生態学、有害動物各論(2021年度開講予定)、動物生理学を履修していることが望ましいです。											
授業の進め方と方法	り、紙媒体の資料	この講義では、卒業論文作成に必要な力を磨くために、専門的な文献について勉強し、パワーポイントを使用したり、紙媒体の資料を作成し、研究室内で文献紹介の発表を行ってもらいます。文献は教員と相談しながら選びます。通常3~10ページ程度です。発表内容についての質疑応答の時間があります。										
授業計画	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	テーション ゼミ	の進め方の説	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
授業の到達目標	・主に動物の生 ・プレゼンテーシ	理や生態、害虫に コン能力を身に	防除法、環境 つけること。	問題に関する知識を	- 深めること。							
授業時間外の学修	文献について説	明できるように魚	か強し、スライ	ドや資料を作成する	'o							
	理解や説明がイ を行ったり、プレ 講評を行ったり	ゼンテーションお		評価方法	文献の内容の熟度)理解度とプレゼン ⁻	テーション習					
テキスト	なし											
参考書	なし											
備考	ワード、エクセル	、 、パワーポイント	〜などのソフト	を使えるようにしてお	S<.							

	Miı	nami Ky	/ushu	University	Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学科	環	境園芸学科					
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ[La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティラーニン						
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次					
教員氏名	岡島 直方				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) P3(3) DP	3(4) DP3(5)					
授業概要	訪れて、実際の 感じたことなどを を描いて伝える 庭の作庭手法の	専攻演習 I は主として座学であったため、皿においては県内外の公園や庭園などの緑地や、様々な屋外、室内空間を訪れて、実際の空間を体験しながら、その空間構成や特徴について学びます。それぞれの場所やそこにある風物から感じたことなどを話し合い共有しながら、短時間で自分の意見をまとめたり、自分の感じたことを他者に言葉やスケッチを描いて伝える練習などを行います。学生の関心に応じて、キャンパス内で庭園施工の演習を行う。特に雑木を用いた庭の作庭手法の開発は研究室の研究テーマとなっています。 【知識・理解の活用】、【汎用的能力、多様な課題発見】										
関連する科目	「造園学概論」に始まる造園専門科目群、「専攻演習 I 」「専攻演習 II 」「専攻演習 II 」「専攻演習 II 」「卒業論文」が一連の授業体系を構成しています。											
授業の進め方と方法	教室で座学的に	実施する演習、	樹林地やフィ	ールドなどで演習や!	実習。							
授業計画	同じことを行うわ例) 1段階.対象地の2段階.対象地の3段階.対象地の4段階.対象との5段階.まとめ事例研究として、	か現状確認 1년 こ必要な管理の こおける今年度 こ対する具体的 1回	実践 5回 の提案事項 アクション 7	• •	りせて行う。							
授業の到達目標	2.調査結果から	事実を把握す力 ・析・解決カ ゾ 実	」、考察するナ はまれ	記されています。 は、要点をまとめる力を ロション能力を高めま	を身につけます。	キル】						
授業時間外の学修	レポートを出すの	かで1つにつき,最	長低約1時間、	課題に取り組んでくた	් さい。							
課題に対する フィードバック	討論や打ち合わに対するコメント			評価方法	レポート(50点	ā),発表(50点)						
テキスト	「庭のデザインと	 :設計」,星進,池	也田書店, 197	5 「雑木林が創り出し	 た景色」,岡島直方	7, 2005						
参考書	「眼を養い手を総	東れ」、宮脇塾講	師室編著,彰	国社, 2003 「旅でスク	アッチしませんか」、	永沢まこと, 講詞	炎社, 1998					
備考	卒業論文、卒業	施工・設計の報	告書などを書	く時に必要となるまと	:め方の基礎です。 							

	Mir	nami Ky	ushu	University	Syllabus						
シラバス年度	2021	開講キャン	パス	都城キャンパス	開設学	学科	環境園	芸学科			
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semin	ar, Part 3]		実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	0			
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当	学年	4年次			
教員氏名	林 典生				学位授与の方針 との関連	P	3(3) DP3(4)				
授業概要	行動により、一終 1. 園芸療法関の記 2. 実践に関する テーマを関係と 3. 事例究を通 行わせる。 【知識・理解の活	者に問題解決を行動現場における 動現場における きせる。 させる。 追じて、卒業論文 に別用的能	テえる人材を る実践に関す 後を踏まえて の実施上に の大の様な		内容で授業を行 関して理解する および地域社会 ・体化させて、今	う。 う。 にとってメリ な後の卒業論	ットのあるヨ 文を進める	ミ践研究の 指針づくりを			
関連する科目	教養科目・教職こと	科目も含めた環	境園芸学部	開講科目、特に履修前	がは専攻演習 I	・Ⅱ、同時期	肌に卒業論文	てを履修する			
授業の進め方と方法	交換を行う。また	研究室に配属された学生の都合の良い曜日時間を決め、指定した文献を読んで、まとめたものを発表すると共に意見交換を行う。また、意見交換した内容を記録を取り、文章確認の後に配布することで、今後の学生の気づきを促す。まとめた文章について意見交換た内容の記録に基づき文章などを修正して提出する。									
授業計画	指3.指4指3.指4指3.指4指3.指4指3.指4指3.指4指3.指4指3.指	を域を会を祉をスを果情関係にスーをョットをしていた。 で決読に読福読サ読ク読語解解報るマパ読ン体教読に練用というではないででです。 ででいてのでどでジでに関に関スジジまデたロまの資料です。 を支と福と織とにといと向す向すマメコといのでとのでででいまに関に関スジジまデたロまの資料のではでいる。 を支と福と織とにといと向すのすマメコといのグめ目料目料意が、 が社がたがかり付いるけるネトとができます。 方でがいまでは、これのでは、また、これでは、また、これでは、また、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	法をご活と組とけらととことではびっぱるか、ムケー作でない。 一般ののお表面では、まれ、これでは、まれ、これでは、まれ、これでは、まれ、これでは、まれ、これが、一般には、まれ、これが、ののでは、一般には、まれ、これが、ののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	行う。 行う。 がおよう。 がいます。 がいます。 がいます。 がいます。 がいます。 がいかります。 がいかります。 がいかります。 で、やいかりででする。 で、かいのでではない。 で、かいのででででする。 で、でででででです。 で、ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	************************************	説明および意	意見交換				
授業の到達目標				主体的に活動実践が出 来るようにする。	出来るようにする	らとともに、受	₿講生自身 <i>0</i>)言語で活動			
授業時間外の学修		終了後に授業内	容に関する	のでそれを調べて、ま 事後課題を提出するの							
課題に対する フィードバック	提出物等は随時 却するとともに、 々な方と意見交	発表会等の場面			15回×3点 計 30点	(レポート 計	発表レポー	丁事後課題 - 6回×5点 100点で成績			
テキスト	新社会福祉援助]の共通基盤上・	下巻(第2版	2009 日本社会福	祉士会 中央法						
参考書	haron Simson, M	lartha Straus C	RC Press (三労働統計協会 Hortic 耶城キャンパス図書館 藤原茂・山口県園芸療	に所蔵あり) 生	活行為向上					
備考											

	Miı	nami Ky	/ushu	University	Syllabus		
シラバス年度	2021	開講キャン		都城キャンパス	開設学科	環境	園芸学科
科目名称 [英語名称]	専攻演習Ⅲ [La	aboratory Semir	nar, Part 3]		実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	
科目コード	710095	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	中野 光議				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DF P3(3) DP3(4	I) DP3(5)
授業概要	本演習では、名します。また、各	各自の卒業研究 自の研究テーマ	の進捗、およ7と関係が深い	び成果を発表します 、論文を読み、その論	。発表内容について 論文の内容を批判し	て、担当教員と受講 ながら自分の考え	生全員で議論を深めます
関連する科目	攻演習Ⅱ、卒業	研究		ヒ論、ビオトープ論、エ			
授業の進め方と方法				⁻ 。毎回1〜2人に発え 一トを作成します。	長してもらい、受講≘	学生全員で議論しる	ミす。また毎
授業計画	第1~10回 研第11~15回 名						
授業の到達目標	1. 自分の研究を 2. 研究について	簡潔かつ正確し 議論することで	こ発表する技 批判的思考力	術を身につける。【汎 を養う。【汎用的技能	.用的技能の育成】 能の育成、態度・志	向性の育成】	
授業時間外の学修	発表に使用す	る資料を作成し	ます。また毎)	愚、各自で関心のある	る論文を1本以上読	み、レポートを作成	たます 。
課題に対する フィードバック	不明な点・疑問がイス、指導を行		三常的にアド	評価方法)%)とレポート(50%) は、授業の出席状況 で決めます。	
テキスト	なし						
参考書	なし						
備考							